



担い手通信



JA bank Mic

Topic

今月の話題

農薬散布用ドローン 安定感優れ折り畳みも 世界最大メーカーDJIが実演会

世界最大のドローン(小型無人飛行機)メーカーのDJIは3月8日、東京都あきる野市で農薬散布用ドローン「AGRAS(アグラス)MG-1」の実演会を開きました。切り返し時の安定性や薬剤の飛散(ドリフト)を抑えた散布能力などを披露しました。ドローンの世界シェア7割を占めるDJIは、同機を機に、日本の農業市場での拡大を狙います。



実演会で飛散を抑え、安定した散布を披露するドローン(3月8日、東京都あきる野市で)

「MG-1」は、10リットルの薬剤タンクを搭載し、1回10分の飛行で1畝分の散布が

可能。四つのノズルで散布幅は最大6メートル。水洗い可能な防水防塵(ぼうじん)性もあ

ります。

実演会では、小学校跡地のグラウンドを圃場に見立てて水を散布。強風時や急な切り返し操作でも、すぐに機体を水平に戻す能力や、下方向にレーザーを照射して作物からの距離を一定に保つ機能などを披露し、参加者に売り込みました。価格は約180万円。作業時の機体幅は約150センチですが、8枚の羽と、本体アームを折り畳むことで、幅が78センチまでコンパクトにできます。「軽トラの荷台はもちろんトランクにも積める」(DJI)とアピールしました。DJI初の農業用ドローンは中国、韓国でも販売しており、日本向けには農林水産航空協会の性能認定を受けました。DJIは4月末

までに、全国30カ所に、教習施設と整備事業所を兼ねた販売代理店を設けるといいます。

数字でみえる 三重県の農と食

資源保全活動を展開する農村集落の数

水路や農道などの生産資源の保全管理や生態系の保全、景観形成などの活動を展開する集落の数は平成27年度で916となっています(三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画平成27年度実施状況報告)。県は平成27年度、法制化された多面的機能支払交付金の普及啓発に取り組み、活動集落数は前年度より91増加しました。今後も、学校やNPOなどさまざまな主体の参画を促していくとしています。

916

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。



直管パイプで下部補強した柵

獣害防護柵の下部補強に直管パイプが有効

農 作物への鳥獣被害を防ぐため、三重県内ではイノシシやシカの侵入防止柵の設置が進められ

ています。近年はワイヤーメッシュ等の金属柵の設置が主流になっていますが、獣が柵の下部を押し上げる等して損傷させるため下部の補強が必要です。三重県農業研究所は、比較的安価に設置できる直管パイプによる下部補強の効果を検査し、有効であることを確認しました。

調査によって、ワイヤーメッシュの線径が同じ3.2mmでも直管パイプで補強した柵Bは、補強していない柵Aに比べて、下部損傷の箇所数が9分の1程度に抑えられていることが分かりました。参考として、補強方法は直管パイプを、針金等で柵の支柱やワイヤーと複数箇所て結束し、柵の地際部(一番高い場所でも地面から15cm以内)に設置します。写真。

直管パイプによる下部補強の効果

柵のタイプ	調査距離(m)	損傷箇所数(100m当たり)		
		上部	下部	全体
柵A(3.2mm×下部補強無)	5,770	3.3	6.3	9.6
柵B(3.2mm×下部補強有)	5,390	2.4	0.7	3.1

お問い合わせ先 三重県農業研究所 地域連携研究課 ☎0598-42-6356

JAいがほくぶ

地域超え課題共有 伊賀南部と交流

JAいがほくぶ青年部は2月下旬、最新の農政事情や市場のニーズなどを話し合う情勢報告会と意見交換会を開いた。青年部として初の試みで、JAいがほくぶ青年部の盟友、伊賀南部の生産者、JA職員ら32人が参加した。グループワークではJA職員が生産者と一緒に「農業を営む中で感じる課題・悩みについて」をテーマに、意見を出し合った。同JA青年部では今後も生産者の交流会を開き、連携を強化していく方針だ。

(2017/3/9 ワイド2東海)

農山漁村男女共同参画推進協議会

女性の力発揮受賞5者報告 共同参画表彰

農山漁村男女共同参画推進協議会は3月7日、東京都内で、2016年度「農山漁村女性・シニア活動」「農山漁村男女共同参画優良活動」の表彰式を開いた。農水大臣賞を受賞した5個人・団体が活動を報告した。シニア起業・地域活性化部門では、三重県伊賀市のNPO法人「あわてんぼう」が受賞。閉園する保育園を活用して里山レストランを開設し、高齢者世帯への宅配弁当も手掛け、地域のニーズに応える。松崎壽和子代表は「農山漁村で女性の力は必要不可欠。これからも地域を元気にしたい」と意気込みをみせた。

(2017/3/8 総合2面)

農水省

「あやひかり」生産増で達成

農水省は津市で3月14日、主食用米以外の作付けを呼び掛ける「需要に応じた生産の推進キャラバン」を開いた。三重県やJA三重中央会、JA全農みえの職員ら15人と意見交換を行った。県は、需要の高い小麦「あやひかり」など麦や大豆の生産拡大により、主食用米の生産数量目標を達成している状況を報告した。同省米麦流通加工対策室の大西正晃室長は「引き続き、需要に応じた生産をお願いしたい」と協力を呼び掛けた。

(2017/3/16 ワイド1東海)

認定農業者の方や一定の条件を満たす農業者の方に



いまなら実質金利 **0%** 年

- トラクターなど農業用機械の購入資金
- 栽培用ハウス・畜舎など農業用施設の建設資金
- 乳牛その他の家畜購入資金



農業近代化資金

一定の要件を満たした認定農業者の方は、JAバンク利子補給制度等により、お借入から当初5年間の実質金利負担がゼロになります。

詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/> 平成29年3月現在

《金利情報》平成29年3月21日現在

農業近代化資金

実質金利
年**0%~0.30%**
(固定金利)

※認定農業者の方は、市町や(公財)農林水産長期金融協会の利子補給等により、お借入が可能です。

スーパーS資金

年**1.5%**
(変動金利)